

村・教育行政報告

第四回定例会

平成二十七年第四回議会定例会が十二月四日から十一日の日程で開催され、議会初日、村長・教育長が村・教育行政報告を行いました。

行政報告

村長 東 出 輝 一

▽要望要請活動

《中央要望活動》

●十一月十二日・十三日の両日、石狩川治水促進期成会の副会長として、流域住民の命と暮らしを守り、豊かな国土を形成するため、石狩川水系治水事業の促進について、平成二十八年度治水関係予算の必要額の確保に向け、国土交通省と財務省に要望した後、北海道選出の国会議員に対して要請を行いました。

●十一月十八日、全国町村長大会に出席。衆・参両議院議長を始め、多くの閣僚の方々が来賓として出席された中で、「大震災からの復興と全国的な防災・減災対策の強化に関すること」や「地方創生に関すること」など、九項目の大会決議を行いました。

▽企画振興関係

●十月三十日、まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口の減少に歯止めをかけようと本年度から五年間の地方版総合戦略「新篠津村まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「人口ビジョン」を関係団体よりご推薦頂いた九名の委

員で構成した組織で六月から審議をしていたが、その間、住民アンケートやパブリックコメント、議会や関係団体への意見照会を行いながら策定いたしました。

●札幌市の小学生との「農業体験交流事業」は、九月二十九日に稲刈り作業を予定しておりましたが、あいにくの悪天候となり、室内での学習となりました。この事業の十周年を記念して、参加した児童が、十年後の自分へ宛てた手紙と思い出の写真をタイムカプセルに入れて、小学校の校庭に埋めました。このタイムカプセルは、十年後に再会し、開ける予定としております。

●それから、十一月二十六日に新小五年生の全員で精米された新米を西岡北小学校に届けました。

●十一月八日、ニューシのつゴルフ場の今シーズンの営業を終了しました。今シーズンは、新たな指定管理者の運営管理により、四月十一日にオープンをし、早朝を含め、約三万四千人のご利用があり、昨年度と比べ、約一・五倍の約一万二千人増と大きく増加いた

しました。

●十月末をもって終了しましたキャンプ場及びボート等の遊具利用の実績ですが、利用人数が約一万六千七百七百人（前年比約三十一％増）、売上げが約八百八十四万円（前年比約三十％増）と前年実績を大幅に上回りました。

▽商工観光関係

●都市との交流や移住促進、地域振興を図るため、各種のイベントに積極的に参加し、新篠津村PRキャラクター「しんしのつのおこめちゃん」と共に本村のPRに努めたところであり、九月十九日、札幌大通り公園で開催された「さつぽろオートナムフェスト二〇一五」には、十丁目会場で、ステージに上がり、新篠津村のPRを行いました。

●その他、九月二十日、札幌市厚別公園競技場で開催された「秋空のマルシェ」、九月二十六から二十七日、由仁町で開催された「ご当地キャラクタ―ハロウィンパーティー」、十月十日、さつぽろテレビ塔下で開催された「テレビ父さんプレゼンツゆるキャラ大集合」に参加をして、PRを図ったところであり、

終了。利用状況は、百二十四区画中、百十九区画の利用をいただきました。

●「ふれあい公園パークゴルフ場」の入場者数は、約一万八百人（前年比約一％減）でありました。

●今年で五年目を迎えた「しんしのつ産直市場」は、五月一日オープンし、十一月三日をもって今年度の営業を終了いたしました。期間中の売上げは約四千八百二十万円（前年比約十八％増）、来場者が約四万八千人（前年比約十三％増）となり、前年を大きく上回る実績となりました。

▽交通安全運動

●九月二十九日に交通事故死ゼロ三〇〇日達成したことを記念して、十月二日に北海道交通機動音楽隊をお招きして、交通事故死ゼロ三〇〇日達成記念コンサートを開催し、多くの村民が参加される中、次の目標である三千五百日（平成二十九年二月十日）に向けて、交通安全を改めて確認したところであり、

又、十一月十一日から十一月二十日までの十日間は、全道冬の交通安全運動が展開され、街頭指導を行いました。●高齢者世帯や障害者世帯に対する除雪サービスは、十一月末までに申請の